

熊本大学附属図書館報

東光原

Kumamoto University Library Bulletin

ISSN 0917-7604

<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/tokogen/>

47

March 2007

図書館ガイドダンス〜どいぞ〜!

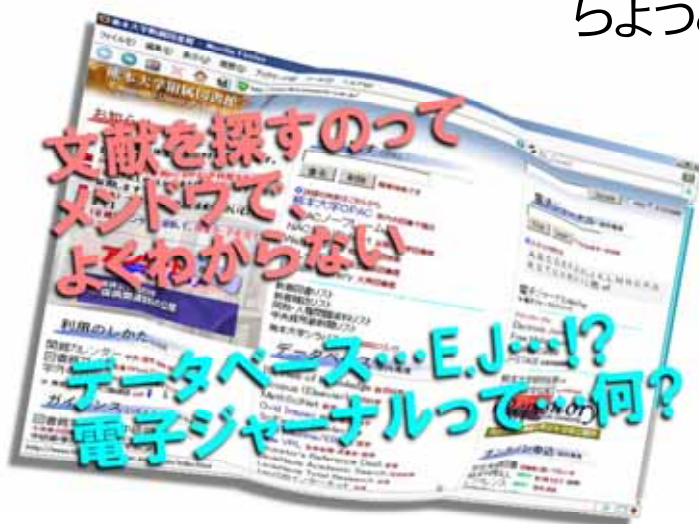
シリーズ研究の周縁より データベースと人間
CSI事業と学術機関リポジトリの構築
最近寄贈された本学教員の著書



特集 図書館ガイダンスへどうぞ！

必要な資料や情報をきちんと探せていますか？

ちょっと自信がないという方は、
図書館ガイダンスへ!!



図書館は気軽に誰もが利用できる場所です。入学から卒業するまでの在学中はもちろん、卒業後は一般市民として、学習・調査・研究のサポートが受けられます。

あなたは図書館を有効に活用している自信がありますか？

試験勉強やレポート提出のときに座席があればいい…とか、本や雑誌を読むだけ…と考えていませんか？

高校までと同じようなレベルで満足だったら、図書館ガイダンスは入学したばかりのときに一回だけ受けておけばOKかも…？ わざわざ新入生用のガイダンスを受けなくても、周囲を見ていれば利用できるようになりそう…ですか？

たとえば熊本大学には一生かかっても読みきれない130万冊の蔵書があります。この中から自分に必要な図書や雑誌を探すためにOPACがあるのはもうご存じですね。でも使い方はマスターできていますか？そのほかに、もっと専門的なデータベースの検索や利用方法も知りたいと思いませんか。

大学では、一人ひとりが目的を持ち、調査・研究をすすめることが求められています。

インターネットで検索し、その情報のみを使ってレポートや論文を書いていませんか？

Yahoo!やGoogle等の検索エンジンを使ったインターネット上の情報だけで、学術的な問題も解決できると勘違いしている方、あなたにはぜひ、図書館ガイダンスを通じて、図書館の存在と情報の有効性を再確認してもらいたいと思います。

図書館ガイダンスで実習に使うデータベースも次々と新しくなっています。18年度に図書館ガイダンス中級編を受講した方も、19年度の在学生用の図書館ガイダンスに参加することで、新たな発見がきっとあるでしょう。新年度は図書館ガイダンスで自学・自習のスタートを切ってください。

図書館ガイダンス会場にて、お待ちしております。

在学生の方へ

❁18年度までの“中級編ガイダンス”を内容ごとに分けて開催します。

文献検索ガイダンス

■ 国内の文献を探そう！

期間：平成19年5月中旬(予定)

会場：附属図書館中央館

- ≡ 文献検索のコツをPCで実習します♪
- ≡ 必要なツール（データベース）のご紹介
- ≡ 学外の文献入手はオンライン申込から

ご希望によりScopusを利用した海外文献検索もできます。事前にご連絡ください。

レポートや授業のための文献検索が、今までよりスムーズにできそう。

たくさんあるデータベースのうち、どれを使えばいいのかが分かったので、良かった。

大学院にも論文検索の方法を知らない人が多いと思いますので、今後も継続していただけるとありがたいです。

新聞記事検索ガイダンス

■ 過去の記事を探そう！

期間：平成19年5月中旬

会場：附属図書館中央館

- ≡ 新聞は毎日“読んで終わり”になっていませんか？
- ≡ 新聞記事も過去に遡って探せます♪
- ≡ 朝日新聞・熊本日日新聞を利用します

ガイダンスを受けることができ、本当に良かった。知らないことばかりだったので、今まで損していた気分です。

*18年度中級編ガイダンス受講者の感想より



最近寄贈された本学教員の著書

—中央館の本学教員著作物コーナーをご覧ください—

甲元眞之 (文学部)

東北アジアの青銅器文化と社会 / 東京 同成社 2006.3

Krounovka 1 site : excavations in 2002 and 2003 / [Vladivostok] Institute of History,
Archaeology and Ethnography of the Peoples of the Far East, Russian Academy of Sciences, Far Eastern
Branch 2004

Zaisanovka 7 site : excavation in 2004 / [Kumamoto] Department of Archaeology, Kumamoto University
2005

西川盛雄 (教育学部)

英語接辞研究 / 東京 開拓社 2006.10

春田直紀 (教育学部)・稲葉継陽 (大学院社会文化科学研究科)

中世景観の復原と民衆像 : 史料としての地名論 / 福岡 花書院 2004.6

吉永誠吾 (教育学部)

音楽とコミュニケーション / 熊本 熊本日日新聞情報文化センター(制作) 2006.3

岩岡中正 (法学部)

石牟礼道子の世界 / 福岡 弦書房 2006.11

吉田 勇 (法学部)

法化社会と紛争解決 / 東京 成文堂 2006.10

小野友道 (名誉教授)

人の魂は皮膚にあるのか : 皮膚科医から見た、文学・人生・歴史 / 東京 主婦の友社 2002.7

木下空太郎と熊本 : 「五足の靴」天草を訪ねる / 熊本 熊本日日新聞社

ハンセン病アトラス : 診断のための指針 / 東京 金原出版 2006.5

大学と地域形成 : 大学政策シンクタンクの挑戦 / 福岡 九州大学出版会 2006.6

工藤敬一 (名誉教授)・春田直紀・稲葉継陽

阿蘇家文書修復完成記念阿蘇の文化遺産 / 熊本 熊本大学 : 熊本県立美術館 2006.9

ロバート・クラウダー (米国)

わが失われし日本 : 五高最後の米国人教師 / 福岡 葦書房 1996.4

表紙の言葉

今号の表紙写真は、旧制第五高等学校最後の外国人英語教師であったRobert Crowder氏の著書「わが失われし日本」です。

あの人は今ごろどうしているのだろう、などとし
ばし感慨にふけることもある。

少し前になるが、研究室のセミナーで4年生が
K先生という国内の大学の先生の研究論文を取り
上げ紹介してくれた。私は不勉強にしてK先生に
ついて存じあげなかったのだが、データベースを
検索して調べたものであるらしいその研究論文は
大変興味深いものであった。K先生の実験
手法は、私たちの研究室で作った「効きそ
うな化合物」が本当に効くかどうかを調べ
るのに、きわめて具合がよさそうに思われ
た。私はその4年生の目のつけどころに感
心するとともに、K先生にお会いしてディ
スカッションできないだろうか、できるな
らば共同研究をさせていただけないだろ
うかと思った

インターネットで検索すると、K先生のご
研究は何度も新聞に取り上げられて注目を
集めていることが分かった。K先生は有名
な先生であるらしかった。俊英が集まっ
て世界をリードする研究を展開している様
子がうかがわれた。見ず知らずの私ごときを相手に
してくださるだろうかと不安に思った。しかし、
何か事を思いつくと試してみなくては気がすま
ない性分である私は、K先生にメールを書いた。す
ぐに丁寧なお返事が返ってきた。K先生の大学を
訪れてみると先生は気さくに私を迎えてくださ
った。K先生には研究上のさまざまな困難を乗り越
えてきた人の柔軟な強さと優しさがあった。

私たちはこれまで化合物の効き目を調べるた
めに、いろいろな生物活性の専門家との共同研究
を行ってきた。先輩などから専門家の先生を紹介
していただいて共同研究することが多かった。今回、
私とK先生を結び付けたのはデータベースであ
る。データベースを学生が検索して出てきた情報
をたどり、K先生という人間に行き着いた。

コンピュータの普及はデータベースの他にも私

たちに多くのものをもたらした。いつの頃からか
ワープロで原稿を書くのが普通になった。ワー
プロがなかったころは何でも手書きだった。例
えば研究費の申請書も手書きだった。黒のイン
クで書くのだが、申請書用紙に予備がなく、一
度書いたら修正できないので、大げさにいえ
ば真剣勝負だった。



坂口安吾という小説家が資料や書き損じて丸
めた原稿用紙の山の中に座ってペンを持ち、丸
眼鏡ごしにこちらを見ている写真をどこかで
見たことがある。尋常でない部屋の散らかり
具合にインパクトがあった。小説家は心を研
ぎ澄ませ、真理をうがつ一文を新しい原稿
用紙に書きつける。しかし、書くうちにだ
んだん書いていることが本当でないように
思われてきて、苦心して書いたものをく
しゃくしゃに丸めて投げ捨てる。紙くず
の山はそうしてできたものであろう。部屋
を掃除して新たな気持ちで書くのが良い
という考えもあるが、周囲に散らばるく
しゃくしゃに丸めた原稿用紙の、書き
損じとと思っていた文章がじわじわと迫
ってきて、小説家が新たに書きつける
文字の力になっているようにも思われ
る。

いまでは原稿用紙もペンも膨大な資料も1台の

日誌 (平成18年11月～19年2月)

11/3 熊本大学ホームカミングデー
11/7 学術リポジトリ説明会 (医学部)
11/14 第4回医学系分館運営委員会
11/15 学術リポジトリ説明会 (法学部)
11/16-17 共同ワークショップ「日本の機関リ
ポジトリの今2006」(千葉大学)
11/20-22 第8回図書館総合展 (横浜市)
11/21 第3回附属図書館専門委員会
11/21-22 平成18年度NAIST電子図書館学講座
(奈良先端科学技術大学院大学)
11/22 第5回附属図書館係長会議
11/28 第5回附属図書館運営委員会
11/29-12/12 図書館ガイダンス中級編
11/30 九州地区国立大学附属図書館長・事
務(部・課)長等会議(九州大学)
12/5 第14回九州地区医学図書館員セミナ
ー(熊本大学)
12/11 第6回係長会議
12/15 第4回附属図書館専門委員会
12/18 第6回附属図書館運営委員会
12/18-19 「デジタル巨人の肩の上に立つ」国
際シンポジウム(東京都)
12/22 第2回阿蘇家文書修復完成記念展実
行委員会(熊本県立美術館)
12/28 第1回医学部図書館講義棟WG図書館部
会
1/4 第7回附属図書館係長会議
1/9 第2回医学部図書館講義棟WG図書館部
会
1/15 熊本県大学図書館協議会セミナー
(熊本大学)
1/16 第5回医学系分館運営委員会
1/20-21 大学入試センター試験
1/22-26 会計検査

1/31 第3回医学部図書館講義棟WG図書館部会
2/1 図書館システム・リプレース
新PCコーナー運用開始
2/8 附属図書館長候補選考委員会
2/21 医学系分館長候補者選挙
2/22 第8回附属図書館係長会議
2/23 琉球大学学術リポジトリ国際講演会
(琉球大学)
2/25-26 熊本大学個別学力検査(前期日程)

人事異動 (平成18年3月～19年2月)

- 転入(平成18年4月1日付)
図書館サービス課電子サービス係長
濱崎 千雅(八代工業高等専門学校)
- 転出(平成18年4月1日付)
八代工業高等専門学校
田川登紀子(学術情報課雑誌情報係)

東光原：熊本大学附属図書館報 第47号 平成19年3月刊

発行 熊本大学附属図書館
〒860-8555 熊本市黒髪2丁目40番1号
Tel. 096(342)2273 Fax. 096(342)2210
編集 浦田博臣 杉本孝之 笠 彩子
URL <http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/tokogen/>
